



# ならチャレンジレター 令和3年度 第5号

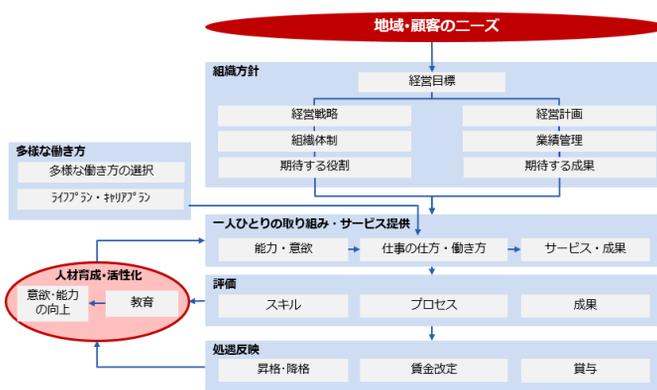
奈良県では、福祉・介護人材の確保を目的として、平成28年12月から「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の運用を開始しました。職員の人材育成や処遇向上等につながる基準をクリアした福祉・介護事業所を知事認証し、公表する制度です。学生や求職者の方が、知りたい情報を随時閲覧でき、福祉・介護の仕事を選択でき、安心して就職できる事業所を広く紹介してまいります。

## 小規模事業所における、教育研修体系の整備・運用のポイント

### 職場内での教育研修を、どう進化させるか？

小規模事業者様の多くで、法定研修以外の研修を「そもそも実施していない」「OJTのみ実施している」というお話をお聞きます。顔の見える規模、風通しの良い関係の中では、計画的に研修を行う必要性は一見弱くように思えます。しかし、そのような環境だからこそ、一貫した育成コンセプトに基づく研修計画と実行は非常に重要です。今回はこれらのポイントについてご紹介します。

経営と人材育成の関係図

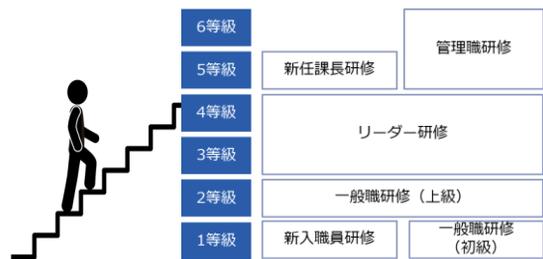


### なぜ計画的な研修が必要なのか？

どの法人にもトップや経営陣の想い・願いがあるものです。それは「こういう職員であって欲しい」といった法人の期待人材像に落とし込まれます。期待人材像に向けて、職員の成長を後押しする仕組みの一つが教育であり、さらにその方法の一つが「研修」です。近年では、介護・障害福祉・保育の分野ともに、人材の専門性や、高品質なサービスが求められるようになりました。こうした中で人材を確保し、より地域に必要とされるサービスを目指す上では、もちろん人材育成が欠かせません。中でも、一貫性のある計画的な研修の仕組みは、効果的な人材育成を考えるうえで特に重要です。

### キャリアパスと連動した研修の効果は絶大！

労力と時間をかけて折角キャリアパスを作成しても、法人内で使われないことがなければ、その意味は薄れてしまいます。キャリアパスには階層や期待役割が示されるため、階層別にどのような知識、技術を身につければよいかが一目でわかります。これをもとに研修計画を作成することで、より一貫性のある計画が実現できます。毎年研修が予定通り実施できたかを振り返り、次年度に向けて計画を練るというサイクルを通じて、法人全体で人材育成の取り組みを加速することができます。



「奈良県福祉・介護事業所認証制度」をきっかけに、研修計画を整備したり、見直したり、運用したりすることが可能です。認証制度の詳細は、ホームページ「福祉・介護の仕事魅力情報なら」をご確認ください。

＜チャレンジ事業所支援の流れ＞ **専門家によるサポート**を受けることができます。

チャレンジ宣言

県ホームページ掲載

無料初期診断・相談

認証取得に向け準備

認証取得



小規模事業所向け認証制度チャレンジ事業所に申請します。(別紙申出書によりお申出下さい)

奈良県のホームページに認証にチャレンジしている事業所である旨を掲載します。

専門家(県からの委託)がご訪問し、認証取得に向けた無料相談に対応します。

認証取得に向けた体制整備、制度の周知発信などに取り組んでいただきます。

認証基準をクリアすることで、認証事業所となり、改めて県HPに掲載いたします。